

ひびき

令和3年7月15日発行
取手市議会だより 第238号

発行・編集責任者
取手市議会・議長 齋藤久代
編集 取手市議会事務局
〒302-8585
茨城県取手市寺田5139
電話 0297-74-2141
<https://www.city.toride.ibaraki.jp/gikai@city.toride.ibaraki.jp>



フェイスブック
市議会ページ



Web版ひびき



詳細は3ページへ



初 全国総合1位！ 議会改革度調査2020

前年1年間の議会活動を調査し、ランキングにして公表・公開する「議会改革度調査2020」で取手市議会が全国1位にランクインしました。この調査は、早稲田大学マニフェスト研究所が毎年、全地方公共団体議会事務局に対し、前年1年間の議会活動に関する調査を行い、数値化してランキングにしているものです。この度、取手市議会は見事、全地方公共団体議会1,788中（47都道府県議会・815市区議会・926町村議会）第1位にランクインしました。6月1日、齋藤議長はじめ取手市議が議場に集まり、オンラインで報告会を視聴。総合1位というランキング結果が発表された瞬間、議場内に歓声が沸き上がりました。（右写真）



1位

議会機能強化部門

調査を行って、議員間で話し合い、政策の質向上や地域課題の解決に直結した活動ができているかを評価する部門です。取手市議会では、令和2年9月にオンラインでの委員会を可能とし、有事の際、平時と同様に委員会を開催できるようにしました。さらに今年の6月に会議規則を改正。議案の審査から採決までオンラインで行うことができるようになりました。



2位

住民参画部門

議会が住民と対話し、ともに学び合うなどして、多様な民意を形成し始めているかを評価する部門です。取手市議会では昨年からは、Zoomを用いた市民とのオンライン意見交換会を開催。会場に足を運ばずに意見交換が可能となりました。

4位

情報共有部門

議会の情報を同じ情報の量と質で、同じ時のなかで住民と共有できているかを評価する部門です。取手市議会では、ホームページやFacebook、ツイッターに議会情報や資料などをいち早く掲載し、最新の情報を発信してきました。また、YouTubeで本会議や委員会の様子をライブ配信することで、リアルタイムで議会の映像を発信しています。



討論

第2回定例会で審議された議案・請願に対する討論の概要をお伝えいたします。
議案には市長が提出するものと、議員が提出するものがあります。

市長提出議案

取手市立藤代小学校校舎大規模改造工事請負契約の締結…可決

〔内容〕バリアフリートイレ併設のエレベーター棟増築、スロープ設置、外壁補修、給排水衛生設備改修など

久保田議員…バリアフリートイレを併設したエレベーター棟の増築など、どんな人にも使いやすくなることは大切。取手市の未来を担う子どもたちが健やかに学習、生活できる環境の整備。賛成。

遠山議員…合併当時から外壁もトイレも汚く改修を望んできたが、市内全域の全ての学校耐震化を優先してきた。まだまだ改善する箇所はあるが、やっと大規模改造工事に取り組み始めたことを評価。賛成。



大規模改造工事が始まる藤代小学校

令和3年度一般会計補正予算(第5号)…可決

〔内容〕集団予防接種休日等医療従事者派遣事業、子ども・子育て支援交付金、生活困窮者住居確保給付金、鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金など

遠山議員…グリーンスポーツセンター第1体育室床補強工事は、本来なら検証後に補正予算を再提出するべき。たとえ市民サービスのためとはいえ、問題を解決しないまま補正予算を認めるわけにはいかない。反対。

根岸議員…グリーンスポーツセンター第1体育室の使用に支障を来したままにしておくことは、市民に不利益をもたらす。早急に進めてほしい。しかし、厳しい財政状況の中、本来ならあってはならないこと。しっかり検証・総括を。賛成。

グリーンスポーツセンター第1体育室床補強 経過

令和元年9月 バasketゴール購入

令和2年2月 床のたわみを確認

12月 床補強工事設計予算を可決

令和3年6月 補強工事を可決。今後、原因の検証を進めることを一般会計決算・予算審査特別委員会として求めた

議員提出議案

コロナ禍での東京五輪開催中止の決断を求める意見書…否決

(提出者…関戸議員 ほか2人)

〔内容〕中止をIOCに求める。中止して利用可能になった資源を感染拡大防止に

根岸議員…新型コロナウイルス感染症が終息されていない現状での五輪開催は、私たち国民の命を脅かしかねない愚

かな選択。たとえ無観客開催でも医療逼迫や感染拡大のおそれはなくなる。賛成。

小池議員…開催には深刻な不足に直面している医療施設や医療設備などの貴重な資源が必要。医療従事者を苦しめ、国民の不安は高まる。人々の命と暮らしを守ることが、自治体の本義・責務。賛成。

脱炭素、脱原発を進め、再生可能エネルギー電力の割合を高める2030年エネルギー基本計画の改定を求める意見書…否決

(提出者…根岸議員 ほか2人)

〔内容〕計画で、2030年度の再生可能エネルギー電力目標を60%以上、2050年度には100%に。原子力発電所の廃止、石炭火力発電所を2050年廃止など

細谷議員…目標が高過ぎるという意見もあるが、内容は人類の将来のために達成しなければならない。脱炭素社会を世界の最高レベルで伍していくためには技術開発を後押しする国家プロジェクトが必要。私もささやかながら節電を考えている。賛成。

関戸議員…日本は極めて自然エネルギーに恵まれた国。自然エネルギー・再生エネルギーへの大きな転換を進めることが地球上のあらゆる命を守る上で大きな意味を持つ。目標は大変高いが目指す意味で賛成。

請願

「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求める請願…不採択

(提出者…茨城県医療労働組合連合会

執行委員長 後藤朋子
紹介議員…小池議員ほか1人)

〔内容〕感染拡大時に備え財源確保、地域医療体制充実、医師・看護師等の大幅増員、保健所増設・保健師増員、社会保障に関わる国民負担軽減を求める

根岸議員…国の対処が十分ならば、現場から請願は出されない。請願に反対すると、命を守るための要望に反対したと市民は受け止めると思う。国民の命と健康を守るために、全ての請願事項を国に強く求めるべきだと判断。賛成。

小池議員…医療現場で働く方々に、現場の状況を伺う中で、実態と逆行する政策は転換を求めなければと痛切に感じる。現場の声を尊重して、よい政策に転換することが議員としての責任。賛成。

新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願

…不採択

(提出者…県南農民組合 組合長 渋谷俊昭 ほか1人

紹介議員…遠山議員)

〔内容〕米価下落に歯止めを、食料支援制度を欧米並みに創設、国内消費に必要な外国産米(ミニマムアクセス米)の輸入数量抑制を求める

関戸議員…感染症による米の消費の落ち込みで、価格が暴落する可能性が高い。米の在庫は生活困窮者への食料支援のために放出を。取手の農業の柱である稲作を衰退させ

ないために意見書を提出する意義は大きい。賛成。
鈴木議員…ワクチン接種が進みコロナ禍が終息し、米の需要も回復すれば、市場に滞留する過剰在庫も減る可能性がある。「大暴落」ではないと思う。また、ミニマムアクセス米は多国間協議が必要で、輸入抑制を直ちに実行できる問題ではない。生産者の状況は十分理解できるが、反対。
遠山議員…在庫は北海道の収穫量と同量が、だぶついている。今年の米価下落が見込まれているのは当然。また、日本の米を守るために、国が実態を少しでも改善できるよう発言していただきたい。鈴木議員に反論。
鈴木議員…請願趣旨の「市場価格が大暴落」「米価下落は底なしの状態」という表現が実態に合わない指摘。遠山議

員に反論。
遠山議員…じかにJAに行き「今年も概算金は下がる。大変な状況」と生の声を聞いている。60kg1,000円下落は大変なこと。機械が壊れたら次はない、後継ぎをお願いできない、そんな農家の皆さんの声を届けたい。鈴木議員に反論。

◆各議員の一般質問については、市の議会報ホームページをご覧ください。

市議会だより「ひびき」

検索

取手市議会だより「ひびき」第238号

(令和3年7月15日発行) 一般質問ページへのQRコード



Challenge DemoTech ～ICT活用で議会が見える～

ライブ配信でも字幕表示可能に!! 音声テック関連技術連携協定

令和3年6月22日のデモテック戦略特別委員会、23日の議会運営委員会、そして25日の定例会本会議において、発言後にごく字幕が出るシステムを用いて、市議会YouTubeライブ配信映像に音声認識文字を字幕表示しました。また、25日の本会議では議場内スクリーンにも表示しました。

これにより、聴覚障がい者はじめ傍聴者への議会会議情報の見える化推進、市議会の議論見える化により議論が深まる効果があります。

これは、令和3年4月28日に株式会社アドバンスト・メディアと取手市議会・取手市が結んだ「**音声テック関連技術連携協定**」の取り組みの1つである「本会議・委員会発言内容リアルタイム字幕表示機能を検証し、市民や傍聴者へより高精度な字幕表示を実施できるシステム構築を目指す」を行うべく、音声認識システム「AmiVoice ScribeAssist (アミボイス スクライブアシスト)」を用いました。



YouTube配信映像に表示された字幕



オンライン会議では少し前の発言を遡って確認できます

キーワード 音声テック関連技術連携協定とは?

株式会社アドバンスト・メディアと取手市議会・取手市が結んだ協定です。新しい民主主義の創造を図る「デモテック戦略」をより充実させるとともに、行政事務のICT化による業務の効率化、技術開発をともに目指すものです。

【連携協定概要】

1. 議場内カメラ機器一式を取手市議会に提供
2. 発言内容リアルタイム字幕表示機能の検証
3. 文字要約関連機能の検証
4. 行政事務における市民対応履歴自動テキスト化の検証
5. 上記2から4のシステム開発・品質向上に向けた会議を開催



オンライン協定式で署名した協定書を掲げる株式会社アドバンスト・メディア大柳取締役、藤井市長、齋藤議長

オンライン委員会、討論・採決可能に



オンライン委員会での採決画面

6月10日の第2回定例会で、議会運営委員会から取手市議会会議規則の改正案が提出され、全員賛成で可決しました。

この改正は、昨年11月から行われてきたオンライン委員会において、討論・採決を行うことができるようにする改正です。これまでのオンライン委員会は、採決をすることができなかったため、委員会審査は質疑までを行うオンライン委員会と討論・採決のみを行う委員会の2回に分けて行う必要がありました。今までオンライン委員会を積み重ねてきたこと、タブレットによる採決システムを導入したことによって、オンラインでも討論・採決が可能になったと判断したため、改正に至りました。

